※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３１６ |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　公共　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新図説　公共　（浜島書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力をつけることを目的とする。

## ２　学習の到達目標

①現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③よりよい社会の実現に向けて，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の諸課題を捉え、考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 | よりよい社会の実現を視野に，公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 私たちがつくる社会 | 第1章<br>『社会の中の私たち』<br>青年期と社会参画<br>宗教・思想・伝統文化<br>1. 公共的な空間と人間のかかわりについて<br>2. 社会に参画する自立した主体となるために<br><br>第2章<br>『思想から学ぶべきもの』<br>倫理的な見方・考え方<br>3. 人間としてのあり方生き方についての探求<br>4. 選択・判断のてがかりとなる倫理的価値について<br><br>第3章<br>『私たちの社会の基本原理』<br>社会の基本原理と憲法の考え方<br>5. 自立した主体となることに向けて<br>6. よりよい公共的な空間づくりをめざして<br><br>第1章 | a:<br>◆人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。<br><br>◆人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。<br><br>◆自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともに，よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。<br><br>◆選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。<br><br>◆環境保護や生命倫理に関する事例をもとに，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに，行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。<br><br>◆人間としてのあり方生き方に | 中間考査<br>期末考査 | 中間考査<br>期末考査<br>提出物<br>等 | 振り返りシート<br>提出物<br>等 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 『社会の中の私たち』<br>青年期と社会参画<br>宗教・思想・伝統文化<br>1. 公共的な空間と人間のかかわりについて<br>2. 社会に参画する自立した主体となるために<br><br>第2章<br>『思想から学ぶべきもの』<br>倫理的な見方・考え方<br>3. 人間としてのあり方生き方についての探求<br>4. 選択・判断のてがかりとなる倫理的価値について<br><br>第3章<br>『私たちの社会の基本原理』<br>社会の基本原理と憲法の考え方<br>5. 自立した主体となることに向けて<br>6. よりよい公共的な空間づくりをめざして<br><br>第1章 | 関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。<br><br>◆各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。<br><br>◆人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。<br><br>◆個人と国家・社会との関係から，世界のおもな政治体制について，自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているか理解している。<br><br>b:<br>●公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。<br><br>●孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察，表現している。<br><br>●伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。<br><br>●倫理的価値の判断において，行 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 『社会の中の私たち』<br>青年期と社会参画<br>宗教・思想・伝統文化<br>1. 公共的な空間と人間のかかわりについて<br>2. 社会に参画する自立した主体となるために<br><br>第2章<br>『思想から学ぶべきもの』<br>倫理的な見方・考え方<br>3. 人間としてのあり方生き方についての探求<br>4. 選択・判断のてがかりとなる倫理的価値について<br><br>第3章<br>『私たちの社会の基本原理』<br>社会の基本原理と憲法の考え方<br>5. 自立した主体となることに向けて<br>6. よりよい公共的な空間づくりをめざして | 為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。<br><br>●幸福，正義，公正などに着目して考えている。<br><br>●幸福，正義，公正などに着目して考えている。<br><br>●公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>c：<br>■公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 社会のしくみと諸問題（政治） | 第1章<br>『私たちと法』<br>法の意義と司法参加<br>1. 法や規範の意義と役割について<br>2. 契約と消費者の権利・責任<br>3. 司法参加の意義について<br><br>第2章<br>『私たちと政治』<br>民主社会と政治参加<br>国際政治の動向と平和の追求<br>4. 政治参加と公正な世論の形成<br>5. 国際社会と主権国家<br>6. 日本の安全保障と防衛<br>7. 国際社会の変化と日本の役割 | a:<br>◆法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆法には国家と国民の間を規律する公法や，私人間を規律する私法などがあること，法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけではなく，国民の活動を積極的に促進し，紛争を解決するなど，日常生活に密接に関連していることを理解している。<br><br>◆基本的人権が保障されるに至った経緯を，現実社会の諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br><br>◆成年年齢が 18 歳以上となったことに対し，成年年齢の意味と成年の責任について理解している。<br><br>◆契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br><br>◆国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され，法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。<br><br>◆現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 | 中間考査<br>期末考査 | 中間考査<br>期末考査<br>提出物<br>等 | 振り返りシート<br>提出物<br>等 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第1章<br>『私たちと法』<br>法の意義と司法参加<br>1．法や規範の意義と役割について<br>2．契約と消費者の権利・責任<br>3．司法参加の意義について<br><br>第2章<br>『私たちと政治』<br>民主社会と政治参加<br>国際政治の動向と平和の追求<br>4．政治参加と公正な世論の形成<br>5．国際社会と主権国家<br>6．日本の安全保障と防衛<br>7．国際社会の変化と日本の役割 | ◆政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。<br><br>◆国会の地位と構成・権限，議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について，理解している。<br><br>◆国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br><br>◆日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br><br>◆国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆人種・民族問題と地域紛争の実態，難民問題にする資料を，さまざまな情報手段を用いて収集し，課題の解決に向けて，国際社会では何がおこなわれているか，理解している。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第1章<br>『私たちと法』<br>法の意義と司法参加<br>1．法や規範の意義と役割について<br>2．契約と消費者の権利・責任<br>3．司法参加の意義について<br><br>第2章<br>『私たちと政治』<br>民主社会と政治参加<br>国際政治の動向と平和の追求<br>4．政治参加と公正な世論の形成<br>5．国際社会と主権国家<br>6．日本の安全保障と防衛<br>7．国際社会の変化と日本の役割 | b:<br>●生徒に身近な紛争や課題を取り上げ，どのようにすれば公平・公正に調整できるのか，主体的なルールを作成・利用することで考察，構想，表現している。<br><br>●法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。<br><br>●幸福，正義，公正などに着目して考えている。<br><br>●家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>●自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br><br>●検察審査会や国民の司法参加の意義など，具体的な主題を設定し，その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br><br>●自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第1章<br>『私たちと法』<br>法の意義と司法参加<br>1. 法や規範の意義と役割について<br>2. 契約と消費者の権利・責任<br>3. 司法参加の意義について<br><br>第2章<br>『私たちと政治』<br>民主社会と政治参加<br>国際政治の動向と平和の追求<br>4. 政治参加と公正な世論の形成<br>5. 国際社会と主権国家<br>6. 日本の安全保障と防衛<br>7. 国際社会の変化と日本の役割 | ●選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現している。<br><br>●地方自治には，直接民主制の考え方に基づくしくみが，国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ，地方自治の課題についても考察，構想し，表現している。<br><br>●国際法の意義と役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。<br><br>●国際社会と国家主権について，国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために，必要な情報を収集し，考察，構想している。<br><br>●国際連合などの国際機関の役割や課題について，国際平和の維持と安定のために広い視野に立って考察，構想したことを，論拠をもって表現している。<br><br>●日本国憲法の平和主義をふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>●核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え，軍縮の意義や効果について，さまざまな観点から考察している。<br><br>●変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか，広い視点に立って理解し，さまざまな観点から考察している。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第1章<br>『私たちと法』<br>法の意義と司法参加<br>1．法や規範の意義と役割について<br>2．契約と消費者の権利・責任<br>3．司法参加の意義について<br><br>第2章<br>『私たちと政治』<br>民主社会と政治参加<br>国際政治の動向と平和の追求<br>4．政治参加と公正な世論の形成<br>5．国際社会と主権国家<br>6．日本の安全保障と防衛<br>7．国際社会の変化と日本の役割 | ●持続可能な開発(SDGs)にふれながら，国際社会の安定について，国民レベル，国家レベル，国際レベルで何ができるかを，さまざまな観点から考察し，論拠をもって表現している。<br><br>c:<br>■法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■契約と消費者の権利・責任について，現代の諸課題を具体的な例をもとに，主体的に解決しようとしている。<br><br>■18歳成年をふまえ，契約に関する知識や問題を身近なこととして捉えて考えようとしている。<br><br>■司法参加の意義について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■地域や国の課題について，自分自身の問題として理解し，解決するための具体的な行動をとっている。<br><br>■国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■日本の安全保障と防衛について，国連憲章や日米安全保障条約，平和主義を掲げる日本国憲法の下，現代の諸課題の解決に向けて，主体的に取り組もうとしている。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ■国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■国際平和の実現について，自分自身の問題として理解し，解決するための具体的な行動をとっている。 | | | |
| 3<br>学<br>期 | 社<br>会<br>の<br>し<br>く<br>み<br>と<br>諸<br>問<br>題<br>（<br>経<br>済<br>） | 第3章<br>『私たちと経済』<br>市場経済のしくみ<br>8. 市場経済の機能と限界<br>9.企業の役割<br>10. 金融のはたらき<br><br>豊かな社会の実現<br>11. 雇用と労働問題<br>12. 社会の変化と職業観<br><br>国際経済の動向と格差<br>13. 国際経済の仕組み<br>14. 経済のグローバル化 | a:<br>◆仕事と生活との調和という観点から，雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちはどのように経済活動に参加しているのか理解している。<br><br>◆社会の変化と職業観について，人工知能の進化の影響など，現代の諸課題を理解している。<br><br>◆企業のはたらきと社会的責任について理解している。<br><br>◆中小企業や農林水産業の課題を理解し，その解決のために行われている取り組みを理解している。<br><br>◆現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。<br><br>◆経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。<br><br>◆市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 | 中間考査<br>期末考査 | 中間考査<br>期末考査<br>提出物<br>等 | 振り返り<br>シート<br>提出物<br>等 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第3章<br>『私たちと経済』<br>市場経済のしくみ<br>8. 市場経済の機能と限界<br>9.企業の役割<br>10. 金融のはたらき<br><br>豊かな社会の実現<br>11. 雇用と労働問題<br>12. 社会の変化と職業観<br><br>国際経済の動向と格差<br>13. 国際経済の仕組み<br>14. 経済のグローバル化 | ◆金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br>◆資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。<br><br>◆経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。<br><br>◆グローバル化の進展により，貧困や格差の問題，地球環境問題などの解決が，地球的な課題となっていることを理解している。<br><br>b:<br>●雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，具体例をあげて多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●技術革新の進展による生活の変化，産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について，身近な問題と関連させて考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●企業の役割や種類から，株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●農林水産業の現状と今後について，さまざまな情報を基に考察，構想し，論拠をもって表現している。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第3章<br>『私たちと経済』<br>市場経済のしくみ<br>8. 市場経済の機能と限界<br>9.企業の役割<br>10. 金融のはたらき<br><br>豊かな社会の実現<br>11. 雇用と労働問題<br>12. 社会の変化と職業観<br><br>国際経済の動向と格差<br>13. 国際経済の仕組み<br>14. 経済のグローバル化 | ●市場機能の限界に対する公共財の供給について，政府の役割を多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●外部不経済の典型例である公害について理解し，公害を防止し環境を保全するための方策について考察，構想し，論拠をもって表現している。<br><br>●経済成長が生活に与える影響を，具体的事例をあげて考察している。<br><br>●家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>●自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br><br>●貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，考察，構想し，表現している。<br><br>●地理など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ，多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>c：<br>■雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第3章<br>『私たちと経済』<br>市場経済のしくみ<br>8. 市場経済の機能と限界<br>9.企業の役割<br>10. 金融のはたらき<br><br>豊かな社会の実現<br>11. 雇用と労働問題<br>12. 社会の変化と職業観<br><br>国際経済の動向と格差<br>13. 国際経済の仕組み<br>14. 経済のグローバル化 | ■社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。<br><br>■市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br><br>■金融のはたらきについて，現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。<br><br>■自分の生き方もふまえ，自分の資産の扱いについてどうすべきかを考えようとしている。<br><br>■経済のグローバル化について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度